



すこやか洞爺湖

健康福祉センター ☎ 76-4006



病院受診のあり方を見直しませんか！

今一度、皆さん一人ひとりが病院受診のあり方を見直し、緊急性を考えた適切な受診を心がけましょう。

また救急当番の医師や看護師は、翌日には通常診療を行わなければなりません。このような状況が続くことで、医師や看護師などの勤務が過重となり、しいては救急診療体制の維持が困難となっている状況にあります。

当地域ではこれまで、総合病院などが救急診療当番病院として、真に救急処置が必要な患者の診療と並行して対応してきましたが、昨今、医師の不足が叫ばれている中、このような利用が増加すると、重症患者への対応が遅れ、救命率が低下することに繋がります。

皆さんは、風邪を引いたなどの比較的軽い症状で病院を受診する場合、通常の診療時間を利用されていると思います。しかし近年、日中働いていて時間が取れない、混んでいて時間がかかるなどの理由から、休日や夜間の時間帯に受診するケースが増えています。

皆さんは、風邪を引いたなどの比較的軽い症状で病院を受診する場合、通常の診療時間を利用されています。

救急当番医療機関からのお願い！

西胆振管内では、総合病院など7カ所の基幹病院が、地域住民の救急診療を担ってきています。

これまでに他の地域で見られるような「タライ回し」もなく、地域の皆さんが安心できる医療を提供してきました。

しかし、全国的な医師不足は同管内でも例外ではなく、大学病院への引き揚げなどにより各病院では慢性的に医師が不足しています。

そこで、医師の負担を少しでも軽減するため、皆さんのご協力をお願いします。

●日中に時間が取れないなどの理由で、夜間などの時間外診療は差し控えましょう。

●日中に症状がある場合、通常診療の時間帯に「かかりつけ医」などの医療機関を受診しましょう。

●通常診療時間外に軽い症状がある場合、できるだけ翌日の通常診療の時間帯に受診しましょう。

●緊急性が低い症状（かすり傷程度のケガ・風邪をひいた・歯痛など）の場合は、他の交通機関を利用していただき、救急車をタクシ一代わりに利用しないようにしましょう。

※緊急を要する症状（意識がない・いつもと違う頭痛や腹痛がある・異物が喉につかえた・骨折などの大ケガをした・呼吸が苦しいなど）がある場合は、迷わず119番通報をしてください。

西胆振管内救急当番医療機関

市立室蘭総合病院、

日鋼記念病院、

新日鐵室蘭総合病院、

大川原脳神経外科病院、

登別厚生年金病院、

伊達赤十字病院、

北海道社会事業協会洞爺病院

